

## 2. 有業者の就業形態

－男女ともに有業率が上昇－

- 有業率(15歳以上人口に占める有業者の割合)は全体で59.2%で、前回より1.9ポイント上昇しており、男女別では、男性が0.7ポイント、女性が2.8ポイント上昇している。  
昭和57年からの推移をみると、前回までは全国と同様に、低下傾向にあったが、今回は男女ともに上昇している。(図2)
- 年齢階級別有業率は、男性は台形型、女性はM字型を示している。  
前回に比べ、男性は特に「65～69歳」で大きく上昇しており、女性は全ての年齢階級で上昇している。(表3、図3)
- 有業者のうち、家族従業者は1万6千人で、前回に比べ1万5千人減少し、雇用者のうち「正規の職員・従業員」は66万2千人で7万人増加している。(図4)
- 従業上の地位を割合で見ると、有業者のうち、家族従業者は1.3%で、前回に比べ1.4ポイント低下し、雇用者総数は91.0%で1.9ポイント上昇している。(表4、図5)

図2 有業率の推移(昭和57年～平成29年)

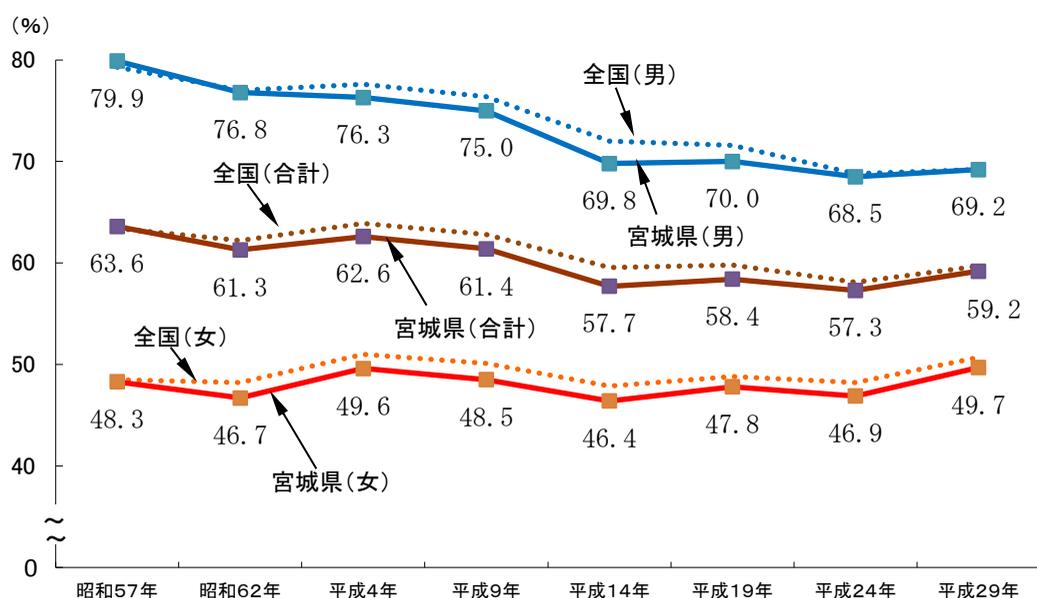


表3 年齢階級別有業率(平成24年, 29年)

(単位: %)

年齢		15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳～
男	平成29年	17.9	66.8	88.8	92.9	93.5	93.9	92.4	95.0	92.8	78.0	58.4	35.9	13.5
	平成24年	14.2	58.7	85.2	90.1	93.6	92.3	93.4	92.9	90.6	75.0	49.3	33.9	13.9
女	平成29年	14.8	67.2	85.8	74.4	76.1	76.0	78.2	77.4	68.9	50.2	30.3	16.4	5.8
	平成24年	14.6	63.2	72.3	70.2	68.1	71.7	74.8	72.7	62.8	41.6	25.7	12.3	4.5

図3 年齢階級別有業率(平成24年, 29年)

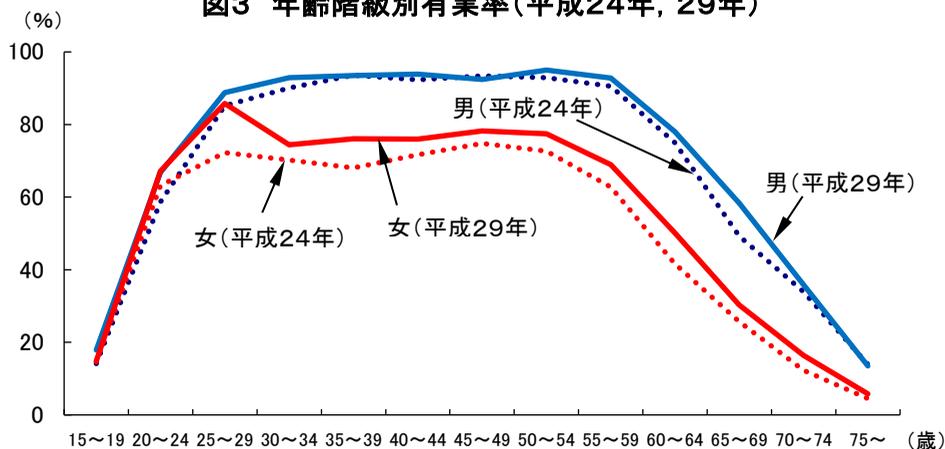


図4 従業上の地位・雇用形態別有業者数

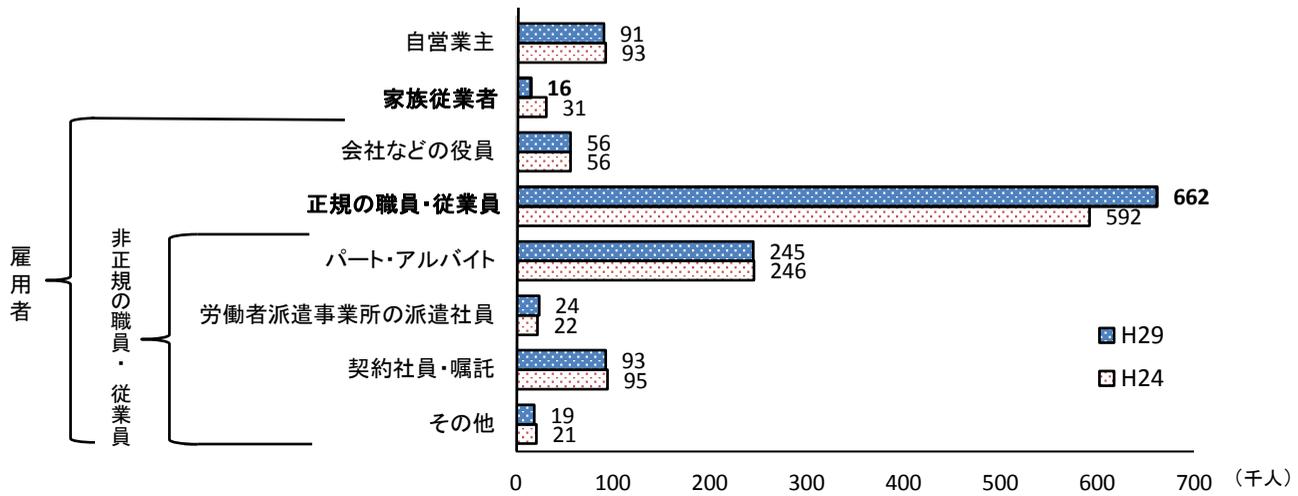
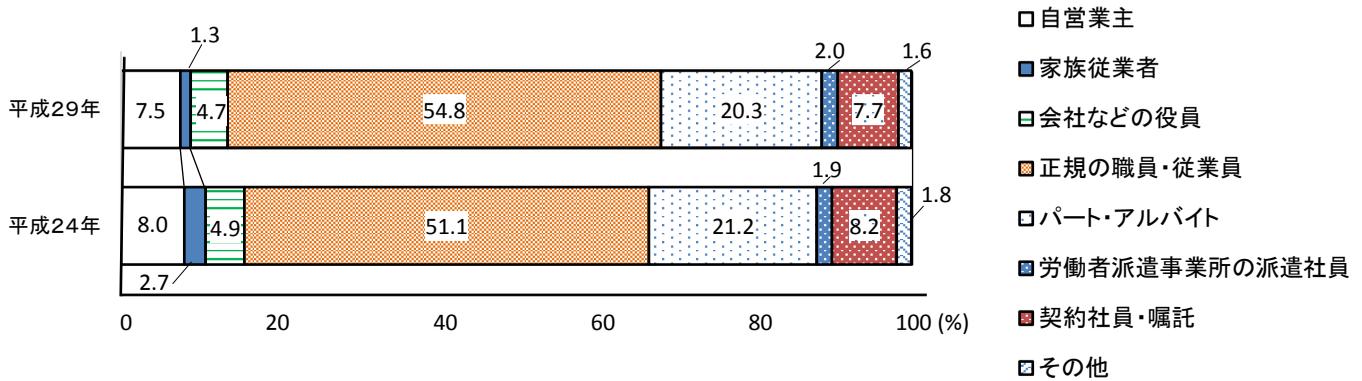


表4 有業者の従業上の地位・雇用形態の割合(平成24年,29年)

(単位: %)

区分	自営業主	家族従業者	雇用者総数	会社などの役員	正規の職員・従業員	非正規職員・従業員総数	パート・アルバイト	労働者派遣事業所の派遣社員	契約社員・嘱託	その他
平成29年	7.5	1.3	91.0	4.7	54.8	31.5	20.3	2.0	7.7	1.6
平成24年	8.0	2.7	89.1	4.9	51.1	33.1	21.2	1.9	8.2	1.8

図5 有業者の従業上の地位・雇用形態の割合(平成24年,29年)



< 参考 >

調査結果の体系図

